

警 防 編

車両の配置状況	4 1
消防水利の状況	4 1
消防機材の配置状況	4 2
火災の概要	4 3
市町村別の火災状況	4 4
月別の火災件数	4 5
原因別の出火件数	4 6
火災件数 10 年の推移	4 6
救急の概要	4 7
市町村別の救急状況	4 8
月別、時間別の出動件数	4 9
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況	5 0
程度別の搬送状況	5 1
救急出動件数 10 年の推移	5 1
応急手当の普及啓発活動状況	5 2
救命スタッフのいる事業所認定制度	5 2
救助の概要	5 3
月別、市町村別の出動件数	5 3
発生場所別の出動件数	5 4
事故種別出動件数比率	5 4
出動人員、活動人員	5 5
救助出動件数 10 年の推移	5 5
通信指令系統図	5 6
119 番着信状況	5 7
医療機関案内状況	5 7

用語の定義

建物火災焼損程度

- 全 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- 半 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- 部 分 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント未満のものでぼやに該当しないものをいう。
- ぼ や …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

救急事故種別

- 火 災 …… 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 自然災害 …… 暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
- 水難事故 …… 水泳中（運動競技によるものを除く。）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 交通事故 …… すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- 労働災害 …… 各種工場、事業所、作業所、工事現場等で就業中発生した事故をいう。
- 運動競技 …… 運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故をいう。
- 一般負傷 …… 他に分類されない不慮の事故をいう。
- 加 害 …… 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
- 自損行為 …… 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
- 急 病 …… 疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
- そ の 他 …… 転院搬送、医師・看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの（傷病者不搬送件数のうち、上記の救急事故に分類不能のものを含む。）をいう。

車両の配置状況

車種	配置先	消 防 本 部	消 防 署					合 計
			本 署	東 部 分 署	西 部 分 署	朝 倉 出 張 所	東 出 張 所	
指 揮 車			1					1
水そう付ポンプ車			1	1	1	1	1	5
ポ ン プ 車			1		1			2
化 学 車			1					1
は し ご 車			1					1
救 助 工 作 車			1					1
司 令 車				1	1	1	1	4
高規格救急車			2	1	1	1	1	6
資材運搬車			2					2
防火広報車		1						1
支 援 車			1					1
その他の車両		2	1					3
合 計		3	12	3	4	3	3	28

消防水利の状況

種 別 市町村別	消火栓	防火水そう		井 戸		プールの 20t以上	合 計
		40t以上	20t以上	40t以上	20t以上		
朝倉市 (旧甘木市)	452	208	32	56	4	13	765
朝倉市 (旧杷木町)	140	60	4		2	1	207
朝倉市 (旧朝倉町)		104	7	7	2	1	121
東峰村	11	57	3			2	73
筑前町	391	269	24	1	1	8	694
合 計	994	698	70	64	9	25	1,860

消防機材の配置状況

種 別	配置先	本	東	西	朝	東	合
		署	部分署	部分署	倉出張所	出張所	
消 防 用 資 器 材	カギ付はしご	4	1				5
	三連はしご	5		1			6
	空気式救助マット	1					1
	救命索発射銃	1					1
	可搬式ウィンチ	2					2
	マンホール救助器具	1					1
	マット型空気ジャッキ	1					1
	大型油圧スプレッダー	1					1
	エンジンカッター	4	1	1	1	1	8
	ガス溶断器	1					1
	チェーンソー	8	2	3	2	2	17
	大型油圧切断機	1					1
	万能斧	6	2	2	2	2	14
	可燃性ガス測定器	1	1	1	1	1	5
	空気呼吸器	28	4	7	4	4	47
	酸素呼吸器	5					5
	潜水器具一式	6					6
	救命ボート	3					3
	船外機	3					3
	投光器一式	12	1	3	1	1	18
緩降機	1					1	
化学防護服	4					4	
充電式油圧救助器具	1	1	1	1	1	5	
エアテント	2					2	
救 急 資 器 材	気道確保資器材一式	2	1	1	1	1	6
	自動体外式除細動器	3	2	2	2	2	11
	ショックパンツ	2	1	1	1	1	6
	輸液用資器材一式	2	1	1	1	1	6
	患者監視装置	2	1	1	1	1	6
	自動心臓マッサージ器	2	1	1	1	1	6
	喉頭鏡・マギール鉗子	3	1	1	1	1	7
	室内オゾン殺菌装置	2	1	1	1	1	6

火災の概要

令和5年中の出火件数は36件で前年より15件の減少となり、これは月平均3.0件、約10日に1件の割合で火災が発生したことになります。火災種別ごとにみると建物火災20件（55.6%）、車両火災4件（11.1%）、その他の火災12件（33.3%）となっています。

損害額は37,790千円で、前年より60,253千円の減少となりました。また、火災により11世帯26人がり災し、死者1名、負傷者1名が発生しています。

項	目	単位	令和5年	令和4年	比較（▲減）
火	災 発 生 件 数	件	36	51	▲ 15
内 訳	建 物 火 災	件	20	19	▲ 1
	林 野 火 災	件		3	▲ 3
	車 両 火 災	件	4	3	▲ 1
	そ の 他 火 災	件	12	26	▲ 14
総	損 害 額	千円	37,790	98,043	▲ 60,253
内 訳	建 物 損 害 額	千円	30,890	63,936	▲ 33,046
	（ 内 収 容 物 損 害 額 ）	千円	6,041	7,854	▲ 1,813
	林 野 損 害 額	千円		234	▲ 234
	車 両 損 害 額	千円	6,639	2,884	▲ 3,755
	そ の 他 損 害 額	千円	261	30,989	▲ 30,728
建 物 焼 損 床 面 積	m ²	688	1,033	▲ 345	
建 物 焼 損 表 面 積	m ²	71	124	▲ 53	
林 野 焼 損 面 積	a		13	▲ 13	
焼 損 棟 数	棟	32	28	▲ 4	
り 災 世 帯 数	世帯	11	20	▲ 9	
り 災 人 員	人	26	51	▲ 25	
死 者 数	人	1	1		
負 傷 者 数	人	1	5	▲ 4	
一 月 平 均 火 災 件 数	件	3.0	4.3	▲ 1.3	
出 火 率	件	4.3	6.1	▲ 1.8	
管 内 人 口	人	82,837	83,032	▲ 195	

（注）出火率は人口1万人当たりの出火件数（人口は各年12月31日現在の住民基本台帳人口）

市町村別の火災状況

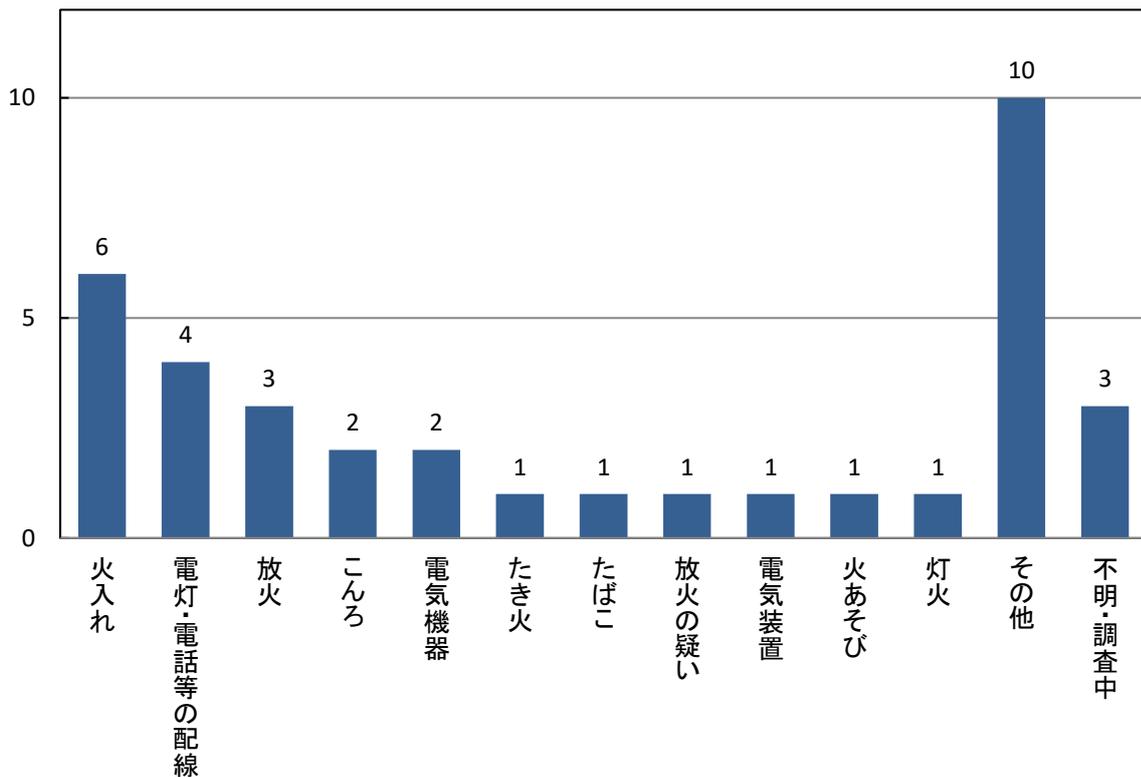
項目		市町村別		合計		朝倉市		東峰村		筑前町	
		年別		令和5年	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	令和4年
火災件数	建物火災	20	19	12	11					8	8
	林野火災		3		3						
	車両火災	4	3	2	2					2	1
	その他火災	12	26	7	19	1	3			4	4
	合計	36	51	21	35	1	3			14	13
損害額 (千円)	建物損害額	30,890	63,936	26,641	58,548					4,249	5,388
	(内収容物損害額)	6,041	7,854	4,449	7,459					1,592	395
	林野損害額		234		234						
	車両損害額	6,639	2,884	4,340	1,298					2,299	1,586
	その他損害額	261	30,989	70	4,575	21	803			170	25,611
	合計	37,790	98,043	31,051	64,655	21	803			6,718	32,585
焼損面積	建物焼損床面積(m ²)	688	1,033	514	953					174	80
	建物焼損表面積(m ²)	71	124	56	122					15	2
	林野焼損面積(a)		13		13						
車両焼損台数		10	11	4	9					6	2
焼損棟数	全焼	8	8	2	7					6	1
	半焼	2	2	2	1						1
	部分焼	9	6	5	5					4	1
	ぼや	13	12	7	6					6	6
	合計	32	28	16	19					16	9
り災世帯数	全損	3	6	2	5					1	1
	半損	1	2	1							2
	小損	7	12	3	7					4	5
	合計	11	20	6	12					5	8
り災人員		26	51	15	34					11	17
死傷者	死者	1	1	1	1						
	負傷者	1	5		3		1		1	1	1

月別の火災件数

項目		月別												
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災発生件数	建物火災	20	1		2	4	2	1	4		1	2	1	2
	林野火災													
	車両火災	4									1	2	1	
	その他火災	12		1		1	2	1	1			4		2
	合計	36	1	1	2	5	4	2	5		2	8	2	4
損害額 (千円)	建物損害額	30,890	200		2,189	6,695	135		3,826		8,774	1,748	7,123	200
	(内収容物損害額)	6,041	200		824	627	7		379		1,993	563	1,248	200
	林野損害額													
	車両損害額	6,639				695					3,484	1,390	1,070	
	その他損害額	261					166	15	4			21	45	10
	合計	37,790	200		2,189	7,390	301	15	3,830		12,258	3,159	8,238	210
焼損面積	建物焼損床面積 (㎡)	688			81	165	2	1	78		73	92	196	
	建物焼損表面積 (㎡)	71			8				2			7	54	
	林野焼損面積(a)													
車両焼損台数	10				1						1	5	3	
焼損棟数	全焼	8			4	1	1					1	1	
	半焼	2							1		1			
	部分焼	9			4	1			1			1	2	
	ぼや	13	1			4	1	1	3			1		
	合計	32	1		8	6	2	1	5		1	3	3	
り災世帯数	全損	3			1	1							1	
	半損	1									1			
	小損	7			2	3	1		1					
	合計	11			3	4	1		1		1		1	
り災人員	26			5	11	2		4		2		2		
死傷者	死者	1											1	
	負傷者	1											1	

原因別の出火件数

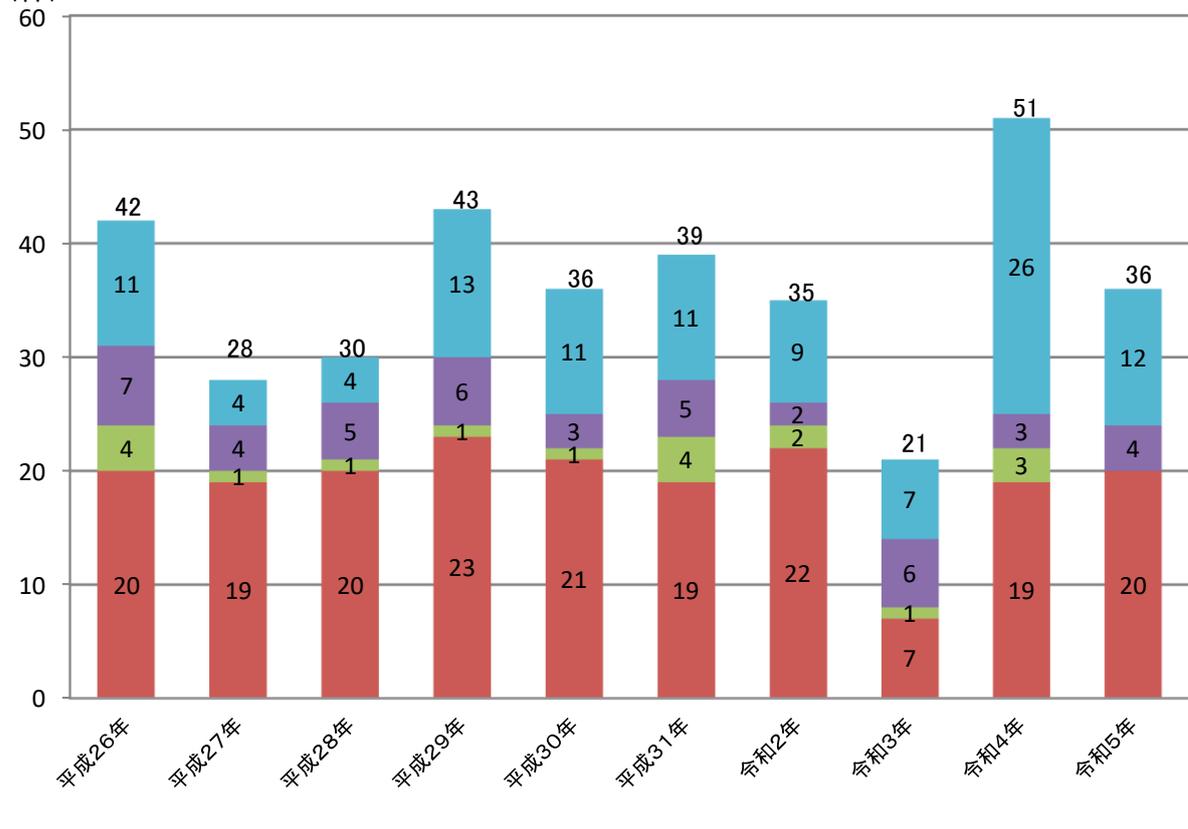
(件)



火災件数10年の推移

■ 建物 ■ 林野 ■ 車両 ■ その他

(件)



救急の概要

令和5年中の救急出動件数は4,452件で、前年に比べて212件の増加となりました。これは1日平均12.2件（前年11.6件）で約118分に1件の割合で出動し、管内住民約21人に1人が救急車を利用したことになります。これを事故種別ごとにみると急病2,923件（65.7%）、一般負傷700件（15.7%）、転院搬送367件（8.2%）、交通事故268件（6.0%）、これ以外の出動件数は194件（4.4%）となっています。

また、管内には第三次救急医療機関が無いため、管外への転院搬送が大きな比率を占めています。

項	目	単位	令和5年	令和4年	比較（▲減）
出	動	件数	4,452	4,240	212
搬	送	件数	3,981	3,804	177
不	搬	送	471	436	35
出 動 件 数 の 内 訳	火	災	3	5	▲ 2
	自	然	3		3
	水	難		1	▲ 1
	交	通	268	260	8
	労	働	100	96	4
	運	動	19	17	2
	一	般	700	653	47
	加	害	9	5	4
	自	損	28	30	▲ 2
	急	病	2,923	2,815	108
そ の 他	転	院	367	342	25
	医	師			
	資	器			
	そ	の	32	16	16
搬	送	人	4,015	3,828	187
傷 病 程 度	死	亡	87	84	3
	重	症	465	478	▲ 13
	中	等	1,883	1,830	53
	軽	症	1,580	1,436	144
	そ	の			
1	日	平均	12.2	11.6	0.6
1	隊	平均	890	848	42
救	急	車	管内住民約21人に1人	管内住民約22人に1人	
管	内	人	82,837	83,032	▲ 195

（注）人口は各年12月31日現在の住民基本台帳人口

市町村別の救急状況

項目	単位	朝倉市	東峰村	筑前町	管外	合計		
出動件数	件	2,804	139	1,504	5	4,452		
搬送件数	件	2,546	115	1,317	3	3,981		
搬送人員	人	2,558	115	1,339	3	4,015		
出動の内訳	火災	件	2		1		3	
	自然災害	件	3				3	
	水難	件						
	交通事故	件	152	4	108	4	268	
	労働災害	件	66	1	33		100	
	運動競技	件	6		13		19	
	一般負傷	件	441	27	232		700	
	加害	件	6	1	2		9	
	自損行為	件	17		11		28	
	急病	件	1,786	102	1,034	1	2,923	
	その他	転院搬送	件	307	2	58		367
		医師搬送	件					
		資器材搬送	件					
その他		件	18	2	12		32	
傷病程度	死亡	人	54	5	28		87	
	重症	人	314	15	136		465	
	中等症	人	1,197	68	616	2	1,883	
	軽症	人	993	27	559	1	1,580	
	その他	人						
1日平均出動件数	件	7.7	0.3	4.1	0.1	12.2		
各市町村人口	人	50,559	1,841	30,437		82,837		

(注) 人口は各年12月31日現在の住民基本台帳人口

月別、時間別の出動件数

(単位:件)

種別 月別 時間帯別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1月	417				15	5	1	50		4	293	49			
2月	302				12	6		51		2	208	21			2
3月	348				28	8	3	56	2	2	222	26			1
4月	357	1			24	8	1	67	1	2	224	27			2
5月	348				11	7	1	64	1	1	230	29			4
6月	332				15	6	3	57		3	211	33			4
7月	426		3		19	17	1	56	2	6	293	28			1
8月	418				29	15	5	66	1	2	258	37			5
9月	363				24	11	1	49		2	245	27			4
10月	358				24	7	2	57		2	233	31			2
11月	382	2			34	6		57	1	1	249	27			5
12月	401				33	4	1	70	1	1	257	32			2
合 計	4,452	3	3		268	100	19	700	9	28	2,923	367			32
0～2	165				10	1		15	2		129	5			3
2～4	147				3	1		19		3	111	5			5
4～6	166				6			16			140	3			1
6～8	286				14	1		43		2	220	6			
8～10	553	1	3		36	21	1	114		1	342	32			2
10～12	602	1			27	22	4	86	2	5	351	99			5
12～14	533				40	13	6	86		2	320	64			2
14～16	445				28	15	4	78		3	255	57			5
16～18	484				46	13	1	76		2	291	52			3
18～20	473				35	8	1	80	3	5	320	18			3
20～22	350	1			13	3	2	54	2	2	258	14			1
22～24	248				10	2		33		3	186	12			2

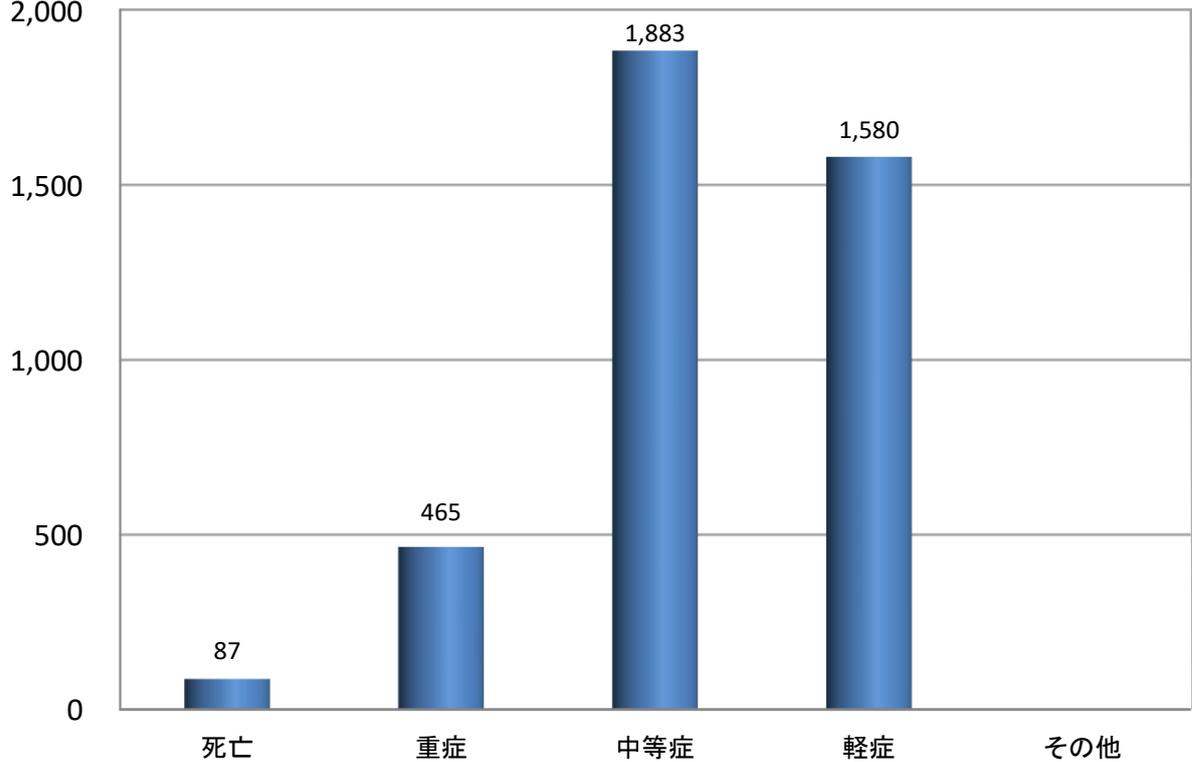
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況

(単位:人)

種別 項目	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
搬送人員	4,015	2			257	98	19	649	6	21	2,597	364			2
年齢区分別	新生児	3						1			1				1
	乳幼児	207			6		1	37			151	12			
	少年	149			14	1	10	37		1	78	8			
	成人	999			153	75	5	80	5	16	589	75			1
	高齢者	2,657	2		84	22	3	494	1	4	1,778	269			
程度別	死亡	87	1		3			6		5	70	2			
	重症	465			24	10		88		1	267	75			
	中等症	1,883	1		72	43	6	285	2	10	1,207	255			2
	軽症	1,580			158	45	13	270	4	5	1,053	32			
	その他														
月別	1月	353			14	4	1	44		4	238	48			
	2月	270			12	6		45		2	184	21			
	3月	311			28	8	3	48	1	2	195	26			
	4月	323			21	8	1	60	1	1	204	27			
	5月	307			8	7	1	59	1		202	29			
	6月	306			16	6	3	60		2	187	32			
	7月	385			18	17	1	50	1	4	266	28			
	8月	384			27	15	5	59	1	1	239	37			
	9月	333			21	10	1	47		1	224	27			2
	10月	332			24	7	2	56		2	210	31			
	11月	346	2		34	6		56	1	1	219	27			
	12月	365			34	4	1	65		1	229	31			

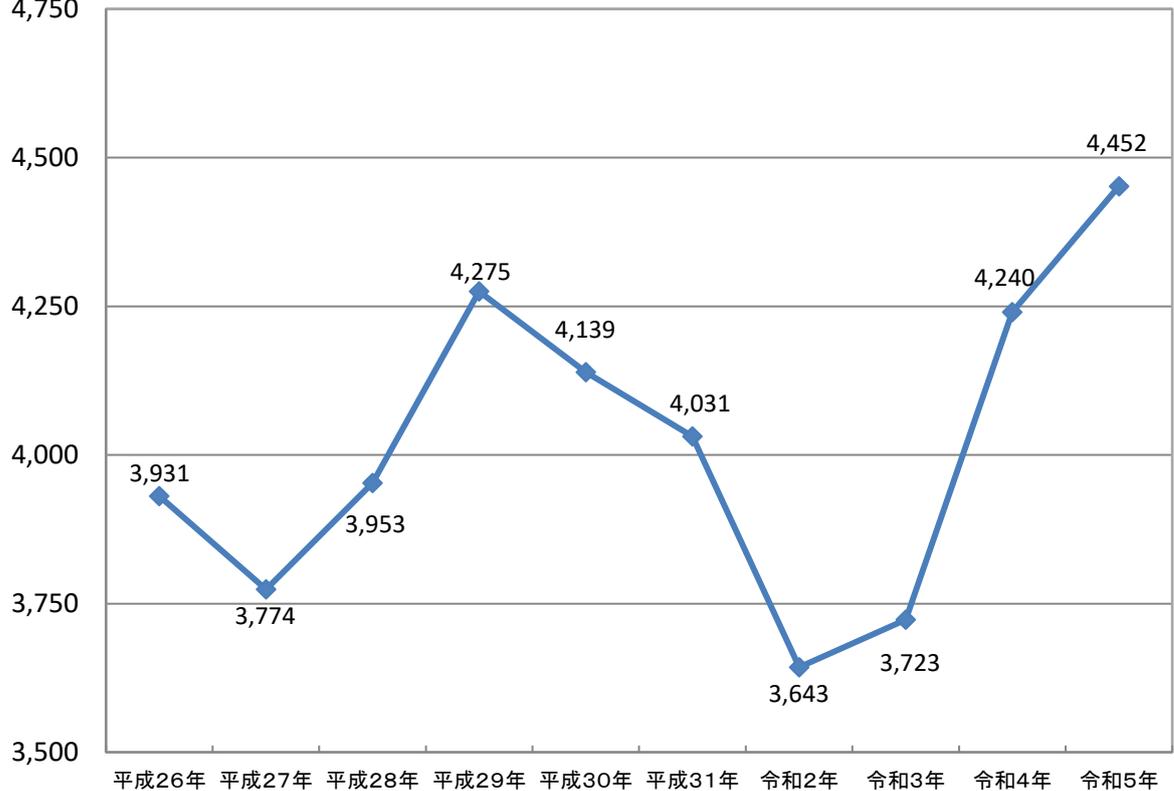
程度別の搬送状況

(人) 2,000



救急出動件数10年の推移

(件) 4,750



応急手当の普及啓発活動状況

区分 年 別	救 命 講 習			
	講 習 回 数	新規受講者数	再受講習者数	受講者合計
平成 21 年	33	692	104	796
平成 22 年	41	791	106	897
平成 23 年	45	882	115	997
平成 24 年	42	1,047	112	1,159
平成 25 年	39	987	65	1,052
平成 26 年	42	963	133	1,096
平成 27 年	38	812	52	864
平成 28 年	41	999	134	1,133
平成 29 年	26	575	85	660
平成 30 年	28	679	33	712
平成 31 年	32	708	41	749
令和 2 年	26	473	43	516
令和 3 年	15	274	32	306
令和 4 年	28	464	18	482
令和 5 年	32	599	46	645
合 計	508	10,945	1,119	12,064

※ 過去15年間の新規受講者総数は10,945人で管内住民の約7人に1人が救命講習を受講したことになります。平成29年7月九州北部豪雨の影響のため、平成29年7月から平成30年2月まで救命講習を一時中止しています。また、令和2年から令和3年にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、救命講習の中止や人数制限が相次ぎました。

救命スタッフのいる事業所認定制度

消防本部においては応急手当の普及啓発活動を推進するため、積極的に救命講習を開催しております。また一人でも多くの救命を行うことを目的とし、平成16年4月1日より救命講習を受講した事業所を「救命スタッフのいる事業所」として認定する制度を実施しています。

救命スタッフのいる事業所認定状況

(令和6年3月31日現在)

朝 倉 市	東 峰 村	筑 前 町	合 計 (事業所)
75	12	16	103

平成16年度から令和5年度までに各事業所の協力を得て103事業所が認定を受けています。今後、更なる充実強化を目指します。

救助の概要

令和5年中の救助出動件数は72件で、前年より6件の増加となり、事故種別ごとにみると交通事故28件（38.9%）、建物等による事故11件（15.3%）、機械による事故3件（4.1%）、火災建物2件（2.8%）、風水害等自然災害事故1件（1.4%）、その他の事故26件（36.1%）となっています。これらの事故で延べ801人の隊員が出動し、42人を救助しました。

事故種別 項目	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外										
出動件数	2		28		1	3	11	1		26	72	66
出動人員	42		318		2	34	105	21		279	801	707
救助人員	1		15				9			17	42	47
出動車両台数	13		106		1	11	35	7		94	267	239

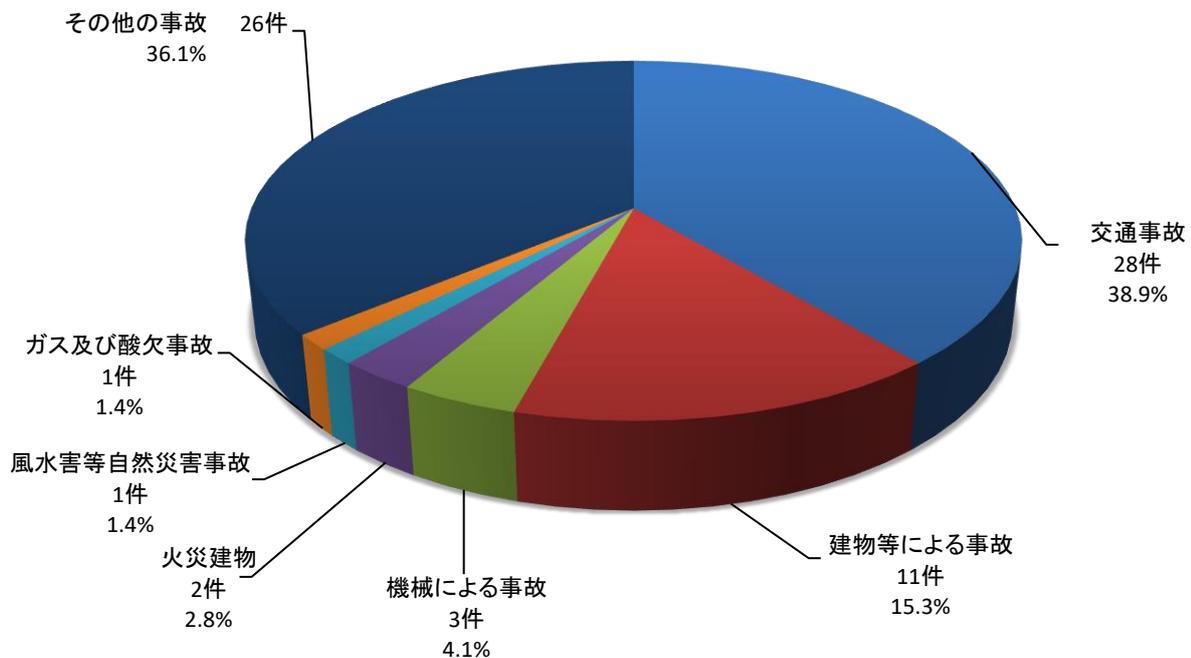
月別、市町村別の出動件数

事故種別 月別 市町村別	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	前年
	建物	建物以外										
1月			1				2			4	7	3
2月			4				2			3	9	1
3月			1				1				2	6
4月	1		3				1				5	7
5月			1			1				4	6	4
6月			2				1	1		3	7	8
7月			1		1					1	3	2
8月			3				1			2	6	4
9月			2							3	5	9
10月										4	4	6
11月	1		4			1					6	7
12月			6			1	3			2	12	9
合計	2		28		1	3	11	1		26	72	66
朝倉市	2		18			2	7			13	42	45
東峰村					1	1	1			3	6	1
筑前町			8				3	1		10	22	16
管外			2								2	4

発生場所別の出動件数

発生場所		火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害事故	機械 による事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
		建物	建物以外									
屋内	住居	2						10			5	17
	その他の屋内						1	1	1		2	5
屋外	道路	高速自動車道		2								2
		その他の道路		19							2	21
	水面	内水面									3	3
		外水面										
	山岳										2	2
	その他の屋外			7		1	2				12	22
地下												
その他												
合計		2		28		1	3	11	1		26	72

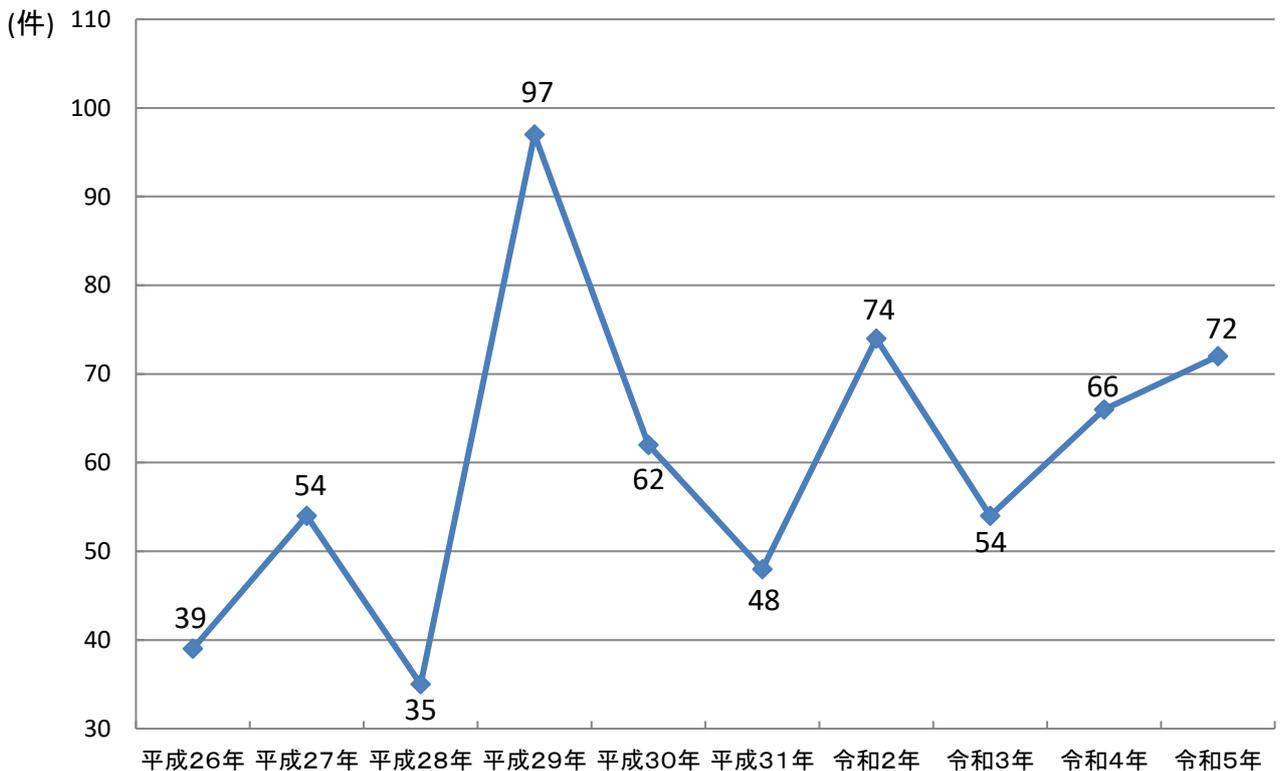
事故種別出動件数比率



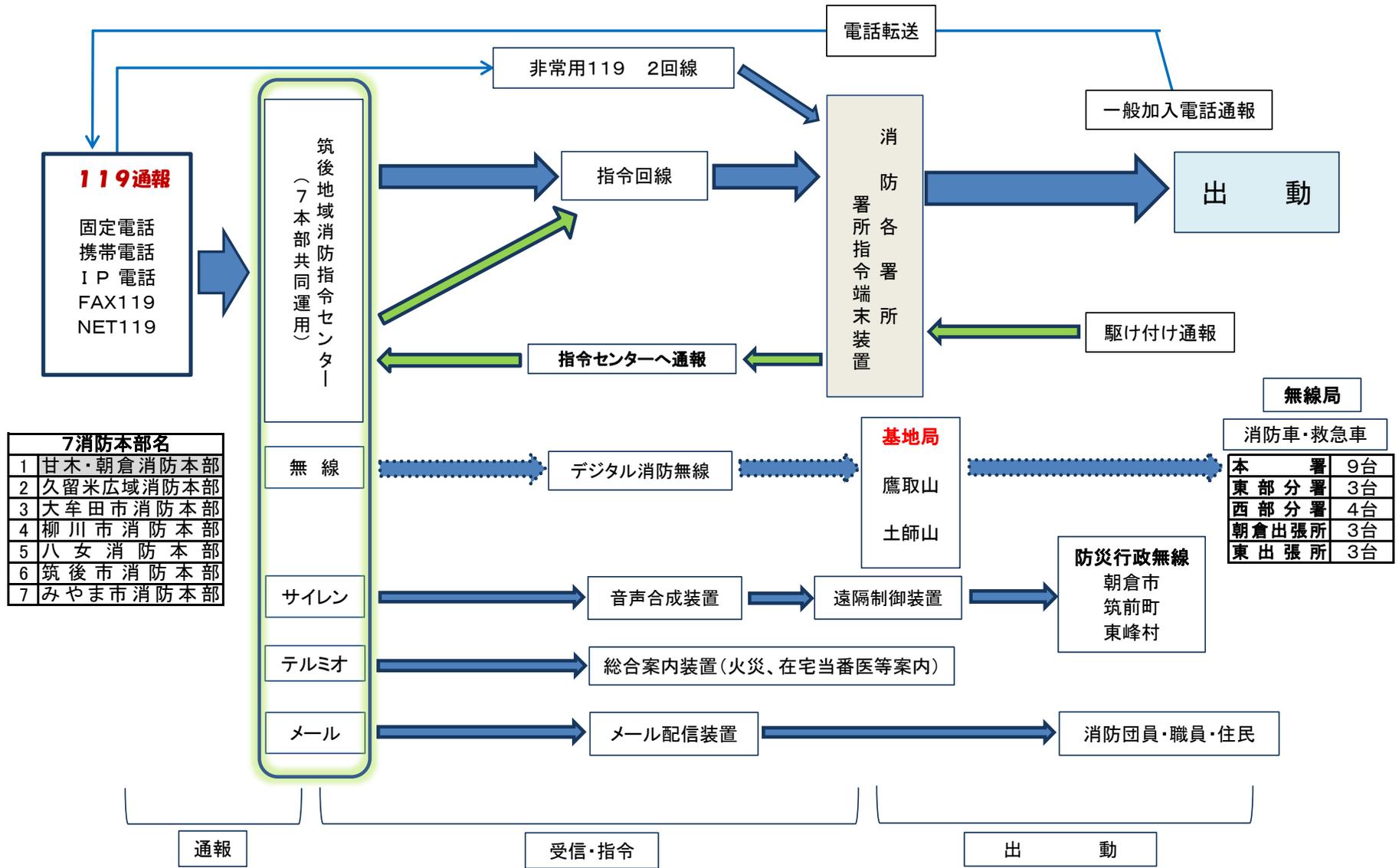
出動人員、活動人員

項目		事故種別		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		火	災										
		建 物	建 物 以 外										
出 動 人 員	救 助 隊 員	8		112				12	40	4		99	275
	消 防 隊 員	28		98		2		13	32	5		93	271
	救 急 隊 員	6		108				9	33	12		87	255
	消 防 団 員												
	合 計	42		318		2		34	105	21		279	801
活 動 人 員	救 助 隊 員	8		36					24	4		36	108
	消 防 隊 員	14		32					16	5		42	109
	救 急 隊 員	3		42					30	12		45	132
	消 防 団 員												
	合 計	25		110					70	21		123	349

救助出動件数10年の推移



通信指令系統図



119番着信状況

種別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災	1	1	9	9	5	2	5	4	5	14	5	6	66
救急 救助	436	314	368	368	357	344	449	445	391	377	404	412	4,665
その他 災害	22	15	11	11	8	13	53	22	11	17	11	19	213
合計	459	330	388	388	370	359	507	471	407	408	420	437	4,944

問合わせ 訓練 誤報等	朝倉市			筑前町			東峰村			合計
		826			370			49		

医療機関案内状況

区分	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
内科	7	4	2	2	2	1	3	4	5	6	4	2	42
外科	6		1	4	2	2	6	6	4	1	6	2	40
小児科	1		1		1	1				2		1	7
特殊科	2	1		1	1	1	1	1	1	1	1		11
合計	16	5	4	7	6	5	10	11	10	10	11	5	100